

パロー新瀬戸ショッピングセンター

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

届出概要

閉店時刻を午後9時から午後10時に繰下げ、来客駐車場利用可能時間を午後10時30分までとする。(法第6条第2項)

1 届出事項

1	届出年月日	平成16年9月7日		
2	店舗名称	パロー新瀬戸ショッピングセンター		
	店舗所在地	瀬戸市東横山町92ほか23筆		
3	変更をする日	平成16年9月30日		
4	届出事項	変更前	変更後	
(1)	設置者	名称	名東興産株式会社	
		代表者	代表取締役 加藤 民夫	
		住所	瀬戸市東横山町75	
		備考	なし	
	小売業者	名称	株式会社 パロー	変更前に同じ
		代表者	代表取締役 田代 正美	同
		住所	岐阜県恵那市大井町270-1	同
		備考	ほか7名	同
(2)	店舗面積	4,492 m ²	同	
(3)	駐車	位置	別紙図面のとおり	同
		台数	206 台	同
	駐輪	位置	別紙図面のとおり	同
		台数	131 台	同
	荷捌	位置	別紙図面のとおり	同
		面積	369.8 m ²	同
	廃棄	位置	別紙図面のとおり	同
		容量	38 m ³	同
(4)	営業	開店時間	午前10時(日曜日及び年末は午前9時)	午前10時(年間60日午前9時)
		閉店時間	午後9時	午後10時
	駐車場利用時間帯	午前9時30分(日曜日及び年末は午前8時30分)から午後9時30分まで	午前9時30分(年間60日午前8時30分)から午後10時30分まで	
		出入口数	3箇所	変更前に同じ
	駐車場	出入口位置	別紙図面のとおり	同
		荷捌時間帯	午前6時から午後10時まで	同
業態	総合店			
用途地域	商業地域			

II 施設の配置及び運営方法関連事項

1 駐車需用の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

① 荷捌施設の整備等

ア 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	369.78m ²	なし	11分	2台	6台	○

イ 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
9時台	6台	-	-	なし	なし	○

② 経路の設定等

(1) 車両関係

搬出入車両関係

通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
なし	-	-

パロー新瀬戸ショッピングセンター

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

① 騒音問題対応策

ア 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	20 m	なし	室外機・来客車両	なし	なし	-
西方向	12 m	なし	荷さばき施設・室外機・来客車両	なし	なし	-
南方向	75 m	なし	荷さばき施設・室外機・来客車両	なし	なし	-
北方向	15 m	なし	室外機・来客車両	なし	なし	-

遮音壁の悪影響 遮音壁設置なし

評価
○

イ 荷捌・営業活動の騒音対策

荷捌施設建築計画面での配慮	荷さばき施設の十分なスペース確保による荷さばき時間の短縮化
荷捌施設運営面での配慮	荷さばき作業者の騒音抑制意識向上の働きかけ
荷捌施設機器選択面での配慮	低音型機器の導入
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音	低音型機器の導入
給排気口からの騒音配慮	低音型機器の導入
駐車場からの騒音配慮	不必要なアイドリング・クラクション・空ぶかし防止等の表示板設置
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	作業・回収時間の制限(早朝・深夜は作業禁止)

② 騒音の予測評価

予測対象騒音	冷却塔	空調室外機	43	給排気口	3	キュービクル	浄化槽	ポンプ	エンジン等
定常騒音	冷凍室外機 5	冷温水発生器		発電機		排煙機	換気扇	あり圧扇	エアハンドリングユニット
変動騒音	ゴミ収集作業 ○	BGM		アナウンス					
衝撃騒音	自動車走行 ○	荷捌アイドリング	○	後進警報ブザー	○				
	荷降り音	台車走行	○						

建物の構造(高さ) 鉄骨造2階建塔屋1階

ア 等価騒音レベル予測

	A(北)	B(西)	C(東)	
用途地域	商業地域	商業地域	第1種住居地域	
昼間基準値	60 dB	60 dB	55 dB	
夜間基準値	50 dB	50 dB	45 dB	
設置者	昼間等価騒音レベル	41.3 dB	43.6 dB	41.4 dB
	評価	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル	26.4 dB	28.0 dB	26.3 dB
	評価	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当

イ 夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所図書館、特別養護老人ホームの有無	無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か	
上記A・Bの具体的内容	

	W1(西)	W2(北)	W3(北西)	
用途地域	商業地域	商業地域	商業地域	
基準値を5dB減ずる要因	なし	なし	なし	
基準値	50dB	50dB	50dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	18.7dB	16.8dB	13.0dB
	評価	○	○	○
県	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	41.2dB	49.8dB	47.8dB
	評価	○	○	○
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当

パロー新瀬戸ショッピングセンター

(2) 廃棄物関係

悪臭問題関係配慮	建物内密閉式保管庫に冷房設備も設置している
衛生問題関係配慮	定期的な回収及び清掃

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	21.70 m ³	1日	1.08 t	0.10 t/m ³	10.78 m ³	変更なし	○
空缶・空き瓶	3.36 m ³	1日	0.17 t	0.10 t/m ³	1.66 m ³	変更なし	○
厨芥・その他	13.23 m ³	1日	1.03 t	0.15 t/m ³	6.89 m ³	変更なし	○
合計	38.29 m ³	-	-	-	19.33 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	なし	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	あり
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共あり	なし

位置・構造	適正な分別の実施		分別廃棄を実施	
	搬出作業の利便性の確保		特になし	
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保		作業・回収時間の制限(早朝・深夜は作業禁止)	
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施		なし	
	生ゴミ保管施設の気密性の確保		なし	

十分な搬送頻度の確保	一日に一回
繁忙期の特別な措置	保管日数の短縮、搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	ダンボール: 福田三商()、不燃物・生ゴミ: エコロダイワ(命第122-1号)
敷地内処理の配慮	-
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	あり
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	なし

評価
○

市の意見の概要	対応
近隣住民等に対し十分な配慮をすること。	現在のところ近隣住民からの苦情・意見は聞いていませんが、今後時間延長に伴い意見が出されましたら、適切に対応いたします。

住民等の意見の概要	対応
意見なし	-

県の意見案
意見なし